

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 石田 崇	(学部) 経済学部
1 重要事項	
(1) 競争的資金	
<p>科研費（科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金））若手研究(B)課題番号 25730023, 課題名「統計的学習問題に対する情報源符号化アルゴリズムの応用に関する研究」（H25 年度～H27 年度, 研究代表者）について, H25 年度に引き続き機械学習問題に対して効率的なアルゴリズムの構築をテーマに取り組んだ. 特に, 逐次予測アルゴリズムとしての情報源符号化アルゴリズムや弱学習機を組み合わせたアンサンブル学習に焦点を当てて, 自然言語処理や機械学習問題への適用について検討を行った.</p>	
(2) 学会報告（共著）	
<p>梅澤克之, 小林学, 石田崇, 中澤真, 荒本道隆, 平澤茂一, “自習時のログ情報に基づく効率的な反転授業について” 情報処理学会第 77 回全国大会講演論文集, 2015 年 3 月.</p>	
(3) 情報教育教材の開発	
<p>情報教育を題材として e-learning や電子書籍の研究開発及び授業モデルの検討, 学生アンケート分析を実施した.</p>	
(4) 担当講義	
<p>今年度は経営統計／情報基礎と情報処理 I, 情報処理 II の授業が新しくスタートしたため, すべての科目をゼロから準備した. いずれもコンピュータ端末を利用した演習形式の授業のため, 背景となる理論や考え方の理解とコンピュータによる実習をバランスよく組み合わせるように授業を構成してシラバスを設計し, 授業コンテンツを作成した.</p>	
(5) 基礎演習	
<p>基礎演習も今年度が最初であり, 少人数のゼミナール形式でより深く統計学やデータサイエンスの基礎を学習できるように, テキストやゼミの進め方について検討し, テキストの輪読と演習問題を実施して知識の定着を図れるように演習内容を設計した.</p>	
2 その他の事項	
<ul style="list-style-type: none">・論文の査読を 2 件行った. (2014 年 11 月, 2015 年 1 月)・高校への出前授業を実施した. (新潟県, 2014 年 12 月)・国内学会和文論文誌エリアエディタを務めた. (2011 年 8 月～継続中)	

3 次年度以降の計画・抱負

・研究

次年度以降は、機械学習アルゴリズムの設計・改良について引き続き検討を行うとともに、経済・経営・地域等の実社会におけるどのような問題分析と相性が良いか、どのようなデータに対して適用が可能か、実データの特性を調査しながら進めていく予定である。

また、情報教育用電子教科書の研究開発を継続するとともに ICT を活用した授業モデルの設計や授業効果の評価方法についてもさらに検討を進めていく予定である。

・教育

経営統計／情報基礎、情報処理 I、情報処理 II、基礎演習は 2 年目になるが、H26 年度に授業教材として不十分だった点や学生アンケートの結果から改善が必要と考えられる点、また、成績評価方法の改善など昨年度の状況を踏まえて対策を行っていく。

また、演習 I が H27 年度からスタートするが、3 年生として卒業論文へ向けたテーマ選びや本格的に研究を開始するにあたっての導入のプロセスを、学生の自主性を尊重しながらうまくサポートできるように進めていきたい。